

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)ドラッグコスモスカわうち店 新築工事			■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.2
Q1 室内環境			0.40		-	1.7
1 音環境		1.8	0.15	-	-	1.8
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		1.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		1.5	0.35	-	-	1.5
2.1 室温制御		2.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.50	-	-	
2 外皮性能		1.0	0.17	-	-	
3 ゾーン別制御性		1.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.0	0.25	-	-	2.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-	
1 昼光率		-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	-	-	
3.3 照度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		1.0	0.50	-	-	
4 空気質環境		2.0	0.25	-	-	2.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		1.0	0.30	-	-	
1 換気量		1.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能		-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理		1.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.7
1 機能性		2.7	0.40	-	-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性				1.6	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.8	0.30	-	-	2.8
3.1 空間のゆとり				3.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	階高が3.85m以上あり	4.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性			2.2	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		1.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制				1.0	0.20	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.81 住宅(専有部) —	4.0	0.50	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		高効率熱源機器・高効率照明器具の採用	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)				-	-	-	
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		2.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	-	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.8	0.20	-	-	2.8
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		材料はF☆☆☆☆を採用	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			2.3	0.70	-	-	
	1	消火剤		1.0	0.33	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮			高効率照明器具の採用により省エネ化を図りCO2の削減	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮				2.0	0.33	-	-	2.0
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		2.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			1.9	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	反射は外装材の形状を住宅側は角波(縦筋)とし配慮	4.0	0.30	-	-	